

リーディングDXスクール事業【AIパイロット校】

札幌市立発寒東小学校（北海道）【指定校】

＜校務利用＞ ③ PTA活動における保護者からの声の分析と会議資料への活用

PTAによる安全パトロール
レポート記述部分の分析スタディポケットfor TEACHERを
使用し、保護者からのレポート
120件を読み込ませ分析させた

おがた

小学校の保護者が登校時に街頭で安全パトロール活動を実施しています。終了時に提出してもらった活動報告アンケートを分析します。すべての回答を読み、いただいた意見の概要をまとめ、傾向と対策を分析してください。

※スクールゾーン実行委員会用 作成資料※

＜いただいた意見から ～良かった部分と今後の課題～＞

- スクールガードや警備員、校長先生に元気に挨拶する姿が多くの保護者から好意的に受け止められています。
- 多くの子どもたちがしっかりと通学路を守り、歩道を歩いているという報告があります。
- 低学年の児童が、正しい手の挙げ方で横断歩道を渡る姿が評価されています。
- 地域の方々、例えば新しい倉庫の警備員が登下校時に見守りをしてくれることについて感謝の声があがっています。
- 近隣の住民が子どもたちを笑顔で見守り、挨拶を交わすことで、安全な環境づくりに寄与していることが報告されています。
- ▲車や自転車のスピードが速く、特に信号のない横断歩道では危険を感じているとの指摘がありました。
- ▲雨天時には校門前に車が停まり、安全を損なっているとの報告がありました。
- ▲横に広がって歩いく、車道にはみ出すなど、交通ルールを守れない児童が一部にいますが、引き続きこの課題と捉えています。
- ▲信号切り替えのタイミングが短く、赤信号になるまでに渡り切れない児童がいることが指摘されています。
- ▲歩道が狭い箇所があり、そこを通る際に危険を感じる人が多いと指摘がありました。

成果物

StudyPocket

以下に、保護者による安全パトロール活動の報告アンケートから見てくる意見の概要、傾向、およびそれに基づいた対策をまとめました。

概要

1. 交通の危険性

- 雨天時に校門前に停車する車の影響で、横断歩道が見えづらくなるとの指摘がありました。
- 通学路を走行する車や自転車の速度が速く、危険を感じるという報告が多数寄せられています。
- 高齢者や通学時間帯の運転行動に関する懸念。

2. 児童の行動に関する懸念

- 斜めに横断する、広がって歩く、車道にはみ出すなどの危険行動をする子どもたちがいるという報告。
- 挨拶をしない子どもが多いことや、傘で遊ぶ子どもがいることに関する指摘。

3. 効果的な見守り体制へのフィードバック

- 強制参加ではない見守り活動への不満。特定の日に一人で見守りをしたとの報告がありました。
- ランニングの引っ張り合いや車道での走行といった遊びの延長で発生する危険行為。

出力

従来は数日がかかりの分析が30秒に！

たたき台として利用し、スクールゾーン実行委員会の資料として活用！

ロードを出していることにより、歩行中の児童に危険が及ぶ可能性あり。